

パフォーマーを紹介! 「ナイス・ミート@エコム」

東部文化会館に登録されているアウトリーチ参加団体(パフォーマー)を各種催物主催団体の皆様に紹介します。実際のパフォーマンスをご覧ください。

- 日時 / 3月2日(土)午後3時開演(所要時間約1時間30分予定)
- 場所 / 東部文化会館 創造活動室
- 定員 / 約100名(先着順) ●入場料 / 無料
- 申込方法 / 2月15日(金)~2月28日(木)に電話で、参加団体及び参加人数をお知らせください。
- 問合せ先 / 東部文化会館(☎502-1012)



『山科消防団にラッパ隊が発足しました』



消防団発足35周年を機に、ラッパ隊発足の気運が高まり、念願であった山科消防団ラッパ隊「愛称：YSラッパ隊」が団員有志により、昨年10月1日に発足しました。

音楽には初心者であった団員達が、練習を重ね、1月20日に開催された山科消防団出初式で初めて演奏を披露しました。

- 問合せ先 / 山科消防署(☎592-9755)

京都刑務所を見学してみませんか

刑務所の運営について皆様にご理解とご協力をいただくため、見学会を行います。

- 実施日時 / 3月14日(木)午後1時30分~3時ごろまでの間
- 場所 / 京都刑務所(東野井/上町20)
- 定員 / 40名 ●費用 / 無料
- 応募方法 / 官製ハガキに、見学希望と明記し、氏名・住所・電話番号・年齢・性別を記載の上、京都刑

務所(〒607-8144)宛てに郵送してください。締め切りは、2月28日(木)(消印有効)です。

なお、応募者が18歳未満の際は、保護者の同伴がある場合に限りま。希望者が多数の場合は抽選とします。当選された方には、「見学許可証」及び見学時の注意事項を郵送します。

- 問合せ先 / 京都刑務所(☎581-2171)

みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

第15回 連載 区民活動きずなリレー

~農業をきっかけにきずなづくり~
農業体験農園 すこやかファームおとわ

区民の皆さんと作った「第2期山科区基本計画」が一昨年4月にスタート!このコーナーでは計画に関する区民活動をご紹介します。

今回は、計画の5つの基本施策のうち「まちの魅力・観光を磨く」に関連して、農業の体験を通じて区民に農業の魅力を伝え、さらにきずなづくりにも取り組んでいる「すこやかファームおとわ」をご紹介します。

「ここは貸農園とは違うんや。」開口一番、オーナーの溝川長雄さんは語ります。「農家の指導のもと、農業の奥深いところも体験できるし、共同栽培区画の世話、苗作り、草刈り、漬物作りなどを通じて、会員同士の交流が進んで一層楽しくなる。だから貸農園でなく体験農園なんです。」そのため溝川さんは、年間を通じた植え付けのプログラムを作り、毎月定期的に行う講習会はもちろん、外部の講師を呼んだり、見学ツアーを企画したりして、会員のスキルアップと交流を図っています。

名神東インターからすぐ



溝川さん

山科区のみなさま

「区民活動きずなリレー」のコーナーを担当しています、京都市のまちづくりアドバイザーの佐藤です。

このコーナーは山科区内で行われている様々な区民活動をご紹介しますことを目的に、一昨年の5月号から連載が始まり、本号で15回目となります。

取材を通じて、本当にいろいろ

な活動をされている方と出会うことができました。昨年12月号のタイトルにもありますが、まさに「山科は知れば知るほどおもしろい」という気持ちです。

特に活動をされているみなさんの「山科が好きだ」「地元のためになれば」という思いを強く感じます。お話しをお聞きするうちに、今後の取組のアイデアで盛り上がり、つい時間を忘れてしまう

お菓子とお飲物を用意してお待ちしています

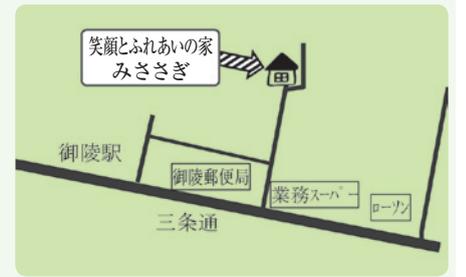
山科区フリースペース開設中!

子どもから高齢者まで、障害のある方もどなたでも、お気軽にお立ち寄りください。

誰もがゆっくり
ほっこりできる
居場所

場所	開設日時
山科醍醐 こどものひろば	毎週月曜日 午前10時~午後4時
山科総合福祉 会館	毎週水曜日 午前10時~午後4時
笑顔とふれあい の家みささぎ	毎週金曜日 午後1時~午後4時

- 開催日については事前にホームページ、チラシ等でご確認ください。
- 利用料は無料(ワンコインカフェ利用時は100円必要)
- 飲食物の持込み可
- 授乳、オムツ交換スペースあり
- 問合せ先 / 山科区社会福祉協議会(☎593-1294)、区支援課第一担当(☎592-3247)



にある農園は、緩い斜面地に広がり棚田の原風景がそのままです。会員の多くは、この風景が山科区に残っていることに感動するそうです。山科区内の方が多く利用されていますが、中には区外からも。取材日に訪れていた左京区の知的障害者施設、飛鳥井ワークセンターは、農園開設当初から週に2~3回利用しています。センター長の川西さんは、「気持ちのいい場所で農作業ができて、利用者も楽しみにしています。収穫した野菜を持ち帰って販売するなど、やりがいにもなっています。」と教えてくれました。

農園の一角では、山科区フラワーロード推進事業に協力して「花と緑のまちづくりサポーター」と花の苗を育てています。

昨年11月、おこしやす「やましな」

ということもありました。また、よく自転車で取材先に伺うのですが、普段通らない場所をじっくり



本号取材の様子。左から二人目が筆者。



広々とした農園の風景

協議会の「東日本大震災被災地キャラバン隊」に参加して、葉ボタンを約50鉢、仙台に届けました。殺風景な仮設住宅では花のプレゼントが大変喜ばれたそうで、夏には暑さに強いポチュラカの花苗を贈りたいそうです。

農業をきっかけにして、楽しみとつながりが生まれる。山科に残る農地に体験農園が増えれば、もっと区民のきずなも深まるでしょう。楽しみです。

- 問合せ先 / 区総務・防災担当(☎592-3066)

見ることができるのも取材の楽しみです。

これからもいろいろご紹介していきたいと思います。皆さんのお近くでも「こんな面白い人がいる」「この活動はすばらしい」という情報がありましたらぜひお知らせください。

- 問合せ先 / 京都市文化市民局地域自治推進室(☎222-3049) 区総務・防災担当(☎592-3066)